

一括質問方式（文責本人）

牧草地の放射能除染工事の進捗状況は

問……………

放射能除染工事の進捗状況はどのようになっていますか。また、今後の見通しは。

答……………
公共牧場2, 216

haのうち、365haの除染工事を完了し、今年度末には460haのおよそ21%を完了する計画である。しかし、残りの1,750haのうち、おおよそ1,390haについては、林間地や急傾斜地など工事困難な土地も多



除染作業風景（除草剤散布）

く、岩手県と早急に協議を行いたい。また、農家所有草地は除染申請面積1,600haのうち、515haを完了した。これから、270haを行い、785ha 49%ほどを今年度末に完了する計画である。その中で、市内に利用可能地域と自粛指定地域が複雑に混在している問題もあり、岩手県に牧草利用自粛地域を遠野市全体に改めるよう要望活動を行った。結果的には、寺沢周辺を除く旧宮守地区を利用自粛地域と改めることはできないと回答があった。なお、旧遠野市地域は、全農家自粛対象と改めるかどうかについては、合理的資料をもって遠野農林振興センターと協議の上、県庁にあげることでされた。除染の優先順位は、許容値以上の草地からであるが、5年後には全ての草地が除染完了となることを目標として除染を進めていく。

中学校跡地活用問題は どうなっているのか

問……………

中学校再編後、閉校となった旧学校施設の利活用に係る地区懇談会は、どうなっているのか。

答……………

今年度4月に綾織、小友、附馬牛、土淵、上郷の全ての地区において検討組織に対する活用計画案説明会を実施した。この説明会では、地区の意見に基づき同意が得られた活用

策については、改修工事に向けて設計業務の予算化を、同意まで至らないが方向性が一致している活用策については具体的な内容の検討を、課題とされた活用策については再検討を、地域の皆様と話し合いを重ねながら現在に至っている。

●その他の質問
状況について

猿ヶ石川環境悪化に係る再生対策は

一問一答方式（文責本人）

問……………

岩手県管理の猿ヶ石川の河川環境は、悪化の一途を辿っている。市はどう対策を講じているのか。再生に臨む市長の強い決意を伺う。

答……………

川に砂が大量に堆積するといった状況である。花巻遠野流域協議会では、河川保持に取組み、県南広域振興局では、猿ヶ石川流域の魚類等生息調査を実施している。

市は、動植物等が棲みやすい河川環境の整備促進に向け、国・県に強く要望していく。

問……………

他県では、魚が棲まない川となり、小学生が写生した絵の川は真っ黒に塗り潰されてい



砂が堆積した河床



瀬ざっこに喜び子どもたち

フオローが足りない等

答……………

猿ヶ石川もそのような現状にあり、現実として認める。魚が棲んで、川で遊ぶという印象を次の世代につなげたい。このことは、河川を甦らせるための大事なプロジェクトと認識する。

遠野農業の経営安定と産地化の形成を どうするのか

問……………

「農業生産100億円達成アクションプラン」は伸び悩みの状況にある。農家の現状課題に沿った新たな生産への誘導や技術指導の体制を強化し、産地化の確立に向けた推進方を明確にすべきではないか。

答……………

平成22年度から27年度までの計画を重点に、きめ細かな生産振興、4人のアドバイザ配置による現場主義の徹底、三者連携による遠野牛の地域一貫生産体制の確立、畜産生産拠点「キヤトルセンター」の建設に着手した。しかし、アストパワ

問……………

知名度が高い遠野市長として、市場でのPRに向いてはどうか。農家の励みにもつながるのでは。

答……………

トップセールスは非常に大事な取り組みだと認識しており、今後力を入れていく。



多田 勉 議員 (清風会)

●その他の質問
中学校再編成後における遠野西中学校の検証とその結果への対応について

菊池 巳喜男 議員 (清風会)

